

認知症  
カフェ

# おれんじ ドア 周南

ドアの向こうには、  
あなたの伝えたい思いを聞き、  
一緒に考え歩む、仲間がいる。

「おれんじドア 周南」は、認知症の人や家族などが  
「認知症かも？」と感じる ふとした気づき、認知症と共にある暮らしや介護、  
知りたい・考えたい認知症のこと、日々の出来事 などの話題で交流をしています。  
専門職や同じ立場の人との相談もでき、  
気分転換や、**新たな出会い、地域とつながりが生まれる場**です。

## 日時

毎月 第4火曜日 ☆ 9月は第5、2月は第3 火曜日

時間はいずれも 10:00~11:30

令和8年	4月28日	5月26日	6月23日
	7月28日	8月25日	☆ 9月29日
	10月27日	11月24日	12月22日
令和9年	1月26日	☆ 2月16日	3月23日

## 会場

周南市学び・交流プラザ ※バス停「新南陽市民病院前」近く

## 内容

お茶を飲みながらの交流  
専門職への個別相談もお受けしています。

参加者の声は、  
裏面に！

## 対象

認知症の人・ご家族、地域の人、医療や介護の専門職 など誰でも

## 定員

30人(初回のみ、下記へ要申込)  
営利や政治・宗教活動を目的とした参加は、ご遠慮ください。

【問い合わせ】 周南市 地域福祉課 ☎0834-22-8462  
✉ fukushi@city.shunan.lg.jp

# 参加者の声

話しやすい雰囲気  
で楽しく喋れる。  
気分転換になる  
(ご本人)

楽しく話せて  
嬉しい。  
最近の私、調子が  
よさそうでしょ？  
(ご本人)

同じ介護者の人と  
話すと、情報を  
もらえて助かる  
(ご家族)

診断後は不安  
だったし、早く人と  
つながっておくと  
いざという時に  
助かった(ご家族)

私の話を  
聞いてくれる人が  
いる場所  
(ご本人)

他の人と話して  
私が本人のペース  
に合わせることが  
大切だと気づいた  
(ご家族)

頼れる人は  
愚痴を言っても  
受け止めてくれる。  
それが安心  
(ご家族)

認知症になった時、  
こうして本音で  
話せる居場所が  
あると安心ですね  
(地域の人)



好きな話題を楽し  
そうに話す本人を  
見て、安心できる  
場所が必要だと  
思った (ご家族)

わいわい話すと  
気持ちが前向きに。  
おしゃべりを通じて  
元気もらっている  
(地域の人)

みんな本音で  
話せている感じ。  
地域での相談時、  
場を紹介したい  
(専門職)

カフェの後は、  
本人が穏やかに  
過ごしていて  
調子がよさそう  
(ご家族)

同じ立場の人同士  
だからこそ、  
分かりあえること  
がたくさんある  
(専門職)

支援の場とは違う  
ご本人の一面に  
出会える場所  
(専門職)